

廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会参加企業の募集について

(国研)日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅ 令和5年度開始予定分

(公財)若狭湾エネルギー研究センターでは、原子力発電所の廃止措置工事への県内企業の参入を応援しています。

この度、(国研)日本原子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん(以下、「ふげん」という。)及び(国研)日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ(以下、「もんじゅ」という。)の廃止措置工事を対象として、工事全般を請負われる「元請会社」と、廃止措置工事に関心があり今回の工事への参加を希望される「県内企業」との間での情報交換会を開催します。

この会では、工事を担当される「元請会社」のご担当者様から、映像による対象工事の具体的な作業内容や必要な技術要件等について全体的な説明を受けたのち、参加された「県内の企業」のご担当者様と「元請会社」の担当者様が個別に面談し、双方の情報を持ち寄り、意見交換をして頂きます。(※〔お願い〕をご参照ください。)

次頁の【対象工事の概要】等をご覧のうえ、ご応募ください。多数のご参加をお待ちしております。

(ご注意：この情報交換会への参加と工事受注とは、直接の関係はありません。)

また、控室をオープンスペースとし、全体説明会等の待合時間に関係なく、自由に交流できる場を提供いたします。各社のPR動画、パンフレット等、各社のPR活動にご利用ください。PR動画、パンフレット等をご利用される場合は、参加申込書にご記入ください。

記

- 〔日時〕 令和5年5月17日(水) 9:00～(開始時刻は予定)
●申込期間：令和5年4月13日(木)～令和5年5月2日(火) 17:00まで
●申込方法：参加申込書に必要事項を記入し、電子メールでお申込み下さい。
- 〔対象〕 廃止措置工事に興味があり、工事への参加を目指す福井県内の企業
- 〔場所〕 福井県若狭湾エネルギー研究センター(福井県敦賀市長谷64号52番地1)
- 〔主催〕 (公財)若狭湾エネルギー研究センター
- 〔後援〕 福井県、敦賀商工会議所大型プロジェクト関連企業協議会(廃炉ビジネス推進委員会)、嶺南地域振興推進協議会商工部会、わかさ東商工会、小浜商工会議所、おおい町商工会、高浜町商工会、(一社)福井県商工会議所連合会、福井県商工会連合会
- 〔対象工事〕 ・ふげん 原子炉建屋内の大型機器等の解体撤去工事
・もんじゅ 水・蒸気系設備等解体撤去作業
…詳細は裏面の【対象工事の概要】等をご覧下さい。
- 〔お願い〕 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場内(全体説明会場、個別面談会場、控室)でのマスク着用、検温、手指のアルコール消毒の導入へのご協力のほか、元請会社様の映像による時間帯別全体説明、グループ別の個別面談(アクリル板を設置)実施など、ご参加の皆様には各種対策へのご協力をお願いします。

問合せ/申込み先

公益財団法人 若狭湾エネルギー研究センター
産業育成部 担当：金松、橋本
TEL：0770-24-7276 FAX：0770-24-7275
E-mail：sangyo@werc.or.jp

【対象工事の概要】

1. 「原子炉建屋内の大型機器等の解体撤去工事」

原子炉建屋内の地上階に設置されている大型機器類（再循環ポンプ、制御棒交換装置等）とこれに付随する機器・配管及びサポート等の解体撤去及び地下階に設置されている配管・サポート及び大型機器類（重水冷却熱交換器、重水循環ポンプ、蒸気放出プール熱交換器等）の解体撤去を行います。

詳細は添付資料①参照

2. 「水・蒸気系設備等解体撤去作業」

水・蒸気系等発電設備のうち、タービン建物3階以下に設置されている機器の解体撤去を実施します。

詳細は添付資料②参照

【開催当日日程】

1. 全体説明会（約40分）・・・グループ別に時間帯を区切り、録画の視聴にて複数回行います。

- (1) 事業者挨拶と廃止措置計画説明
- (2) 元請会社挨拶と工事概要・技術要件等の説明

2. 個別面談（約30分）・・・全体説明会後に、ご希望の会社のみ実施します。

3. 交流会場の設置（控室）

全体説明会及び個別面談の控室については、参加企業様との交流ができるよう、オープンスペースとします。全体説明会等の待合時間に関係なく、自由にご利用下さい。

各社のPR動画、パンフレット等をご利用される場合は、参加申込書にご記入ください。

【参加申し込み】

①社名、②職名、③氏名、④電話番号、⑤メールアドレス等、必要事項を記載し、お申し込み下さい。

【(公財) 若狭湾エネルギー研究センターへのアクセス】



福井県敦賀市長谷64号52番地1

Tel: 0770-24-2300

お車の場合：舞鶴若狭自動車道
敦賀南スマートIC下車 出口すぐ

JRの場合：敦賀駅からタクシーで約20分

<https://www.werc.or.jp/access/>

新型転換炉原型炉ふげん原子炉建屋内の大型機器等の解体撤去工事の概要

(目的及び概要)

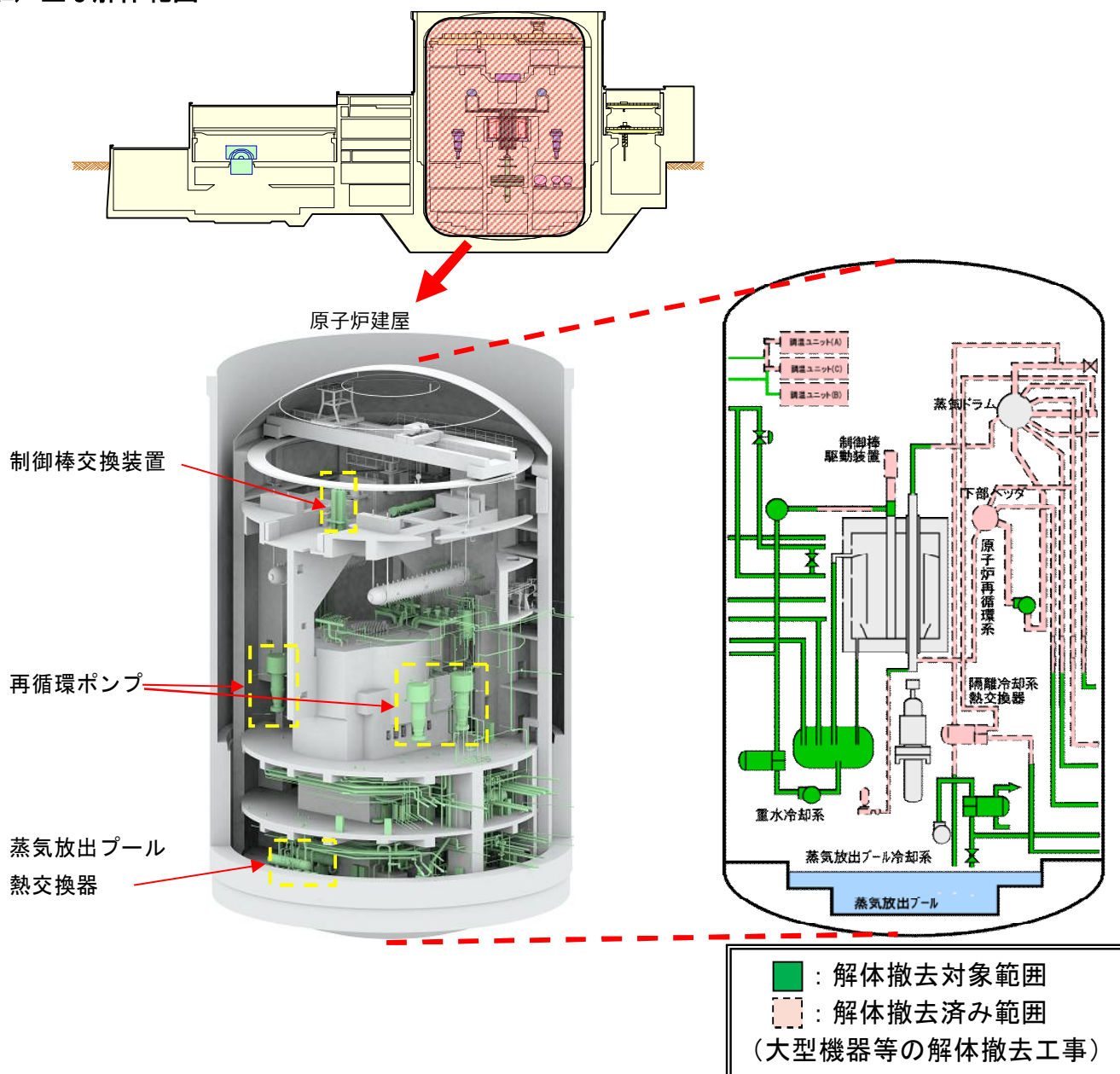
新型転換炉原型炉ふげんは、原子炉周辺設備解体撤去期間中であり、原子炉本体解体撤去準備のため、原子炉建屋内の地上階に設置されている大型機器類(再循環ポンプ、制御棒交換装置等)とこれに付随する機器・配管及びサポート等を解体し撤去する。また、地下階に設置されている配管・サポート及び大型機器類(重水冷却熱交換器、重水循環ポンプ、蒸気放出プール熱交換器等)について、解体撤去を実施します。

なお、管理区域内の機器・配管等が対象となるため、放射線管理が必要となります。

(1) 主な解体撤去対象物

- ・一次冷却設備(冷却材再循環系、給水系)
- ・非常用冷却設備(高圧注水系、低圧注水系、蒸気放出プール冷却系等)
- ・重水系(ダンプタンク、重水冷却熱交換器、重水循環ポンプ)
- ・ヘリウム系(エゼクタ、気液分離器)

(2) 主な解体範囲



(期待する作業項目と技術ニーズ)

	項目	作業内容	技術的ニーズ※
A1	原子炉本体解体撤去に係る環境整備のための解体撤去作業	(1)解体撤去対象機器・配管等に敷設されている保温材の撤去 (2)原子炉建屋内の大型機器・配管類の解体撤去	①②③④ ⑤⑥
A2	解体撤去物等の区分・保管処置作業	(1)解体撤去により発生した解体撤去物について、汚染の程度に応じた分類・区分、管理 (2)解体撤去物のうち金属類について、原則として500mm×500mm×300mm以内の大きさに分解又は細断若しくは重量25kg以内のどちらか満たすまで分解又は細断 (3)細断した解体撤去物を貸与する容器(メッシュボックス又はボックスパレット)に収納(厚肉鋼材等により容器に収納できない解体撤去物について、不燃材にて全周養生) (4)収納又は養生した解体撤去物を原子炉建屋、タービン建屋内の指定する保管区域まで運搬、保管	①⑤⑥
A3	保温材の減容処理	(1)石綿を含有するおそれのある保温材の破砕・圧縮による減容処理	①⑤⑥

※技術的ニーズ

- ①放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。
- ②切断対象の形状や材質等に応じて熱的切断工具(ガス切断、プラズマ切断等)及び機械的切断工具(バンドソー、ワイヤーソー等)を使用出来る技能を有していること。
- ③作業に適した足場の架設解体が出来る技能(足場作業主任者)など、一般的な建設業の技術を有していること。
- ④狭隘箇所での大型機器の解体技術を有していること。
- ⑤解体物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る技能(クレーン運転士、玉掛作業主任者等)を有していること。
- ⑥石綿の取扱い及び安全対策に係る技能を有していること。

水・蒸気系設備等解体撤去作業(タービン建物3階以下の設備解体に係る大型機器解体撤去準備作業)の概要

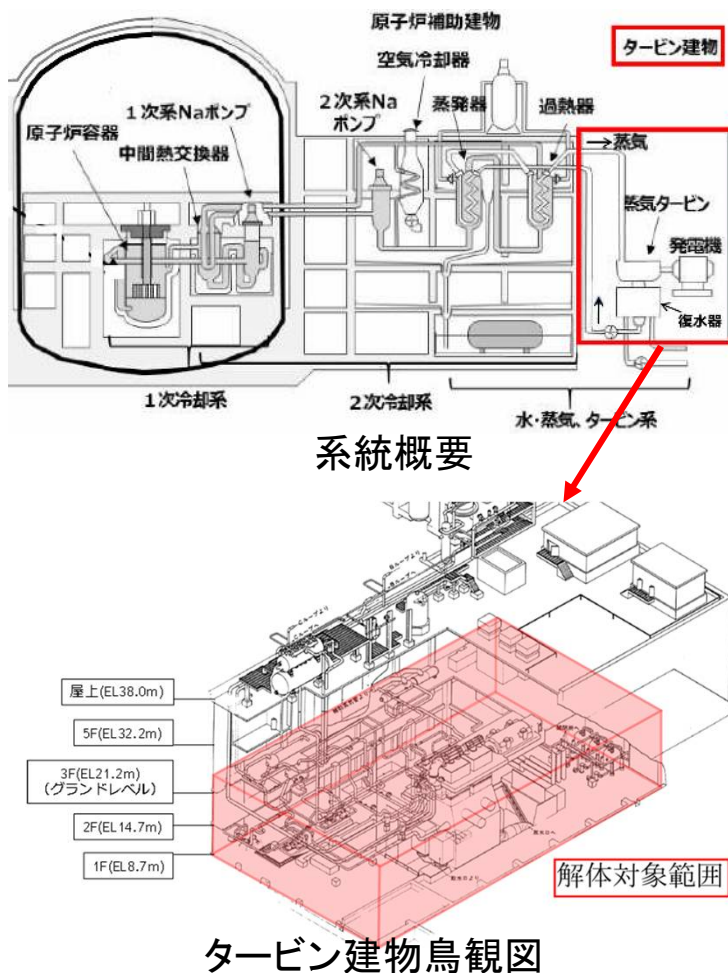
(目的及び概要)

高速増殖原型炉もんじゅは、2023年度～2026年度にかけて、タービン建物3F以下の水・蒸気系設備の解体撤去を実施します。当該工事はその前半2年の工事となり、2025年度以降に実施する大型機器等の解体撤去に先行して、解体作業場所や現在の据付位置からの搬出経路等を整備・確保する必要があることから、それらに干渉することが見込まれる既設設備の解体撤去を実施することを目的としています。

(1) 主な解体撤去対象物

場所	主な対象物	主な作業内容
T/B 3F	蒸気タービン	高所・保温・火気・重量物
	高圧第1,2給水加熱器	高所・保温・火気・重量物
	低圧第3給水加熱器	高所・保温・火気・重量物
T/B 2F	復水器	高所・火気・重量物・酸欠
	グランド蒸気復水器	高所・火気・重量物
	低圧第1,2給水加熱器	高所・火気・重量物・酸欠
T/B 1F	復水器	高所・火気・重量物・酸欠
	循環水配管(ライニング剥離)	高所・火気・酸欠
屋外	塩酸貯槽	高所・重量物・酸欠・毒劇物
	苛性ソーダ貯槽	高所・重量物・酸欠・毒劇物
その他 (1～3F)	配管(弁類含む)	高所・保温・火気・重量物
	架台類	高所・火気・重量物

(2) 主な解体範囲



蒸気タービン



復水器



高圧第1給水加熱器

(期待する作業項目と技術ニーズ)

	項目	作業内容	技術的ニーズ※
B1	大型機器等の解体撤去に先行して、現在の据付位置から解体作業場所までの搬出経路等の整理・確保のための機器配管等の解体作業	タービン建物3階以下の設備解体に係る大型機器解体撤去準備作業 (1)高・低圧タービン分解 (2)復水器解体 (3)給水加熱器解体 (4)ポンプ等解体	①②③④
B2	機器、配管等の保温材の解体作業	(1)上記機器、配管等に敷設されている保温材の解体、撤去作業	②④⑤

※技術的ニーズ

- ① 切断対象の形状や材質等に応じて熱的切断工具(ガス切断、プラズマ切断等)及び機械的切断工具(バンドソー、ワイヤーソー等)を使用出来る技能を有していること。
- ② 作業に適した足場の架設解体が出来る技能(足場作業主任者)など、一般的な建設業の技術を有していること。
- ③ 狭隘箇所での大型機器の解体技術を有していること。
- ④ 解体撤去物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る技能(クレーン運転士、玉掛作業主任者等)を有していること。
- ⑤ 保温材の取扱い及び安全対策に係る知識(大気汚染防止法、粉じん障害防止規則)及び技術を有していること。

申込締切 令和5年5月2日(火)

新型転換炉原型炉ふげん及び高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会 参加申込書(令和5年度開始予定分)

廃止措置工事の元請会社(廃止措置工事を原子力機構様から請負う会社)との情報交換会に、下記のとおり参加を申し込みます。
本申込書に記載された個人情報及び企業情報は、情報交換会開催に係る目的の範囲内で利用(元請会社への情報開示を含む)
されることを理解したうえで同意いたします。

1. 参加確認			
どちらか1つ	チェック	参加希望	以後、記入が必要な項目
○を記載して		全体説明会のみ参加を希望	2, 3
ください		全体説明会と個別面談の両方に参加を希望	2, 3, 4, 5, 6

2. 参加企業情報 (全体説明会・個別面談共通)			
企業名 (必須)	ふりがな		
所在地 (必須)	ふりがな		
		〒	
連絡窓口 (必須)	ふりがな		所属
	本店・支店名		役職
	ふりがな		TEL
	氏名		FAX (任意)
			E-MAIL
業種			
交流会PR動画、パンフレットの有無		有・無	

3. 参加者情報 (全体説明会・個別面談 共通)			
参加者①	ふりがな		所属
	本店・支店名		役職
	ふりがな		TEL
	氏名		FAX
			E-MAIL
参加者②	ふりがな		所属
	本店・支店名		役職
	ふりがな		TEL
	氏名		FAX
			E-MAIL

※1 1社あたりの参加者は2名までとします。

※2 本申込書は、電子ファイル(Excelファイル)のまま、事務局に提出してください。本申込書の電子ファイル(Excelファイル)は、エネ研ホームページ(<http://www.werc.or.jp/>)の「News & Event (お知らせ・イベント)」からダウンロードしてください。

※3 全体説明会のみ参加を希望する場合は、「2. 参加企業情報」、「3. 参加者情報」まで記載して提出してください。

※4 元請会社との個別面談を申し込み場合は、「4. 参加企業情報」、「5. 個別面談を希望する対象工事」、「6. 『元請会社が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」も合わせて記入し、添付ファイルを添えて提出してください。

※5 個別面談については、「全体説明会」の内容に関する質問の時間にもご活用下さい。

(個別面談参加希望の企業のみ記載してください)

4. 参加企業情報 (個別面談希望企業)			
企業名		従業員数	
		資本金	
添付ファイルの有無 ※2		企業案内の添付 (会社案内パンフレットや自社ホームページのコピー等を電子ファイルにて添付し、○印を付けてください)	
会社概要	(業務概要)		
	(主な取扱製品 (事業))		
	(事業所拠点数) <主な拠点>		

※1 元請会社による全体説明会に出席していない方は、元請会社との個別面談に出席できません。本書を提出の際は「2. 参加企業情報」「3. 参加者情報」も記入し、提出してください。

※2 本申込書(Excelファイル)と添付書類(PDFファイル等汎用ソフトで開けるもの)を、電子ファイルで事務局に提出してください。
(添付ファイルのファイル名は、何の添付ファイルか容易に判断できる名称にしてください)

※3 情報交換会当日の全体説明会及び個別面談の時間については、希望企業数を勘案して後日事務局にて調整のうえ決定します。

5. 個別面談を希望する対象工事 (個別面談希望企業) 新型転換炉原型炉ふげん

<p>求められるニーズを確認のうえ、個別面談を希望する対象工事について、該当するチェック欄に○を記載し、次の項目「6.『元請会社が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」に記載してください。</p>	<p>新型転換炉原型炉ふげん「原子炉建屋内の大型機器等の解体撤去工事」</p>	チェック	工事番号	工事項目	求められる技術的ニーズ
			A1	原子炉本体解体に係る環境整備のための解体撤去作業	<ul style="list-style-type: none"> ①放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。 ②切断対象の形状や材質等に応じて熱的切断工具（ガス切断、プラズマ切断等）及び機械的切断工具（バンドソー、ワイヤーソー等）を使用出来る技能を有していること。 ③作業に適した足場の架設解体が出来る技能（足場作業主任者）など、一般的な建設業の技術を有していること。 ④狭隘箇所での大型機器の解体技術を有していること。 ⑤解体物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る機能（クレーン運転士、玉掛作業主任者等）を有していること。 ⑥石綿の取扱い及び安全対策に係る技能を有していること。
			A2	解体撤去物の区分・保管処置作業	<ul style="list-style-type: none"> ①放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。 ⑤解体物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る機能（クレーン運転士、玉掛作業主任者等）を有していること。 ⑥石綿の取扱い及び安全対策に係る技能を有していること。
			A3	保温材の減容処理	<ul style="list-style-type: none"> ①放射線に関する基礎的な知識を有し放射線測定器を使用出来る技能を有していること。 ⑤解体物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る機能（クレーン運転士、玉掛作業主任者等）を有していること。 ⑥石綿の取扱い及び安全対策に係る技能を有していること。
共通			<ul style="list-style-type: none"> 必要な作業人員を確保できること。 不測の事態発生にも早急な対応が可能であること。 作業に必要な建設業許可、法令知識があること。 原子力施設における個人の信頼性確認の審査により認定を受けること。 異物管理の運用方法を明確にし、異物混入によるトラブル防止を図ること。 		

5. 個別面談を希望する対象工事 (個別面談希望企業) 高速増殖原型炉もんじゅ

		チェック	工事 番号	工事項目	求められる技術的ニーズ
<p>求められるニーズを確認のうえ、個別面談を希望する対象工事について、該当するチェック欄に○を記載し、次の項目</p> <p>「6. 『元請会社が求める技術的ニーズ』に対応する自社が持つ技術の概要」に記載してください。</p>	<p>高速増殖原型炉もんじゅ 「水・蒸気系設備等解体撤去作業」</p>		B1	<p>大型機器等の解体撤去に先行して、据付位置から解体作業場所までの搬出経路等の整備・確保のための機器配管等の解体作業</p>	<p>①切断対象の形状や材質等に応じて熱的切断工具（ガス切断、プラズマ切断等）及び機械的切断工具（バンドソー、ワイヤーソー等）を使用出来る技能を有していること。 ②作業に適した足場の架設解体が出来る技能（足場作業主任者）など、一般的な建設業の技術を有していること。 ③狭隘箇所での大型機器の解体技術を有していること。 ④解体撤去物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る技能（クレーン運転士、玉掛作業主任者等）を有していること。</p>
			B2	<p>機器、配管等の保温材の解体作業</p>	<p>②作業に適した足場の架設解体が出来る技能（足場作業主任者）など、一般的な建設業の技術を有していること。 ④解体撤去物を収納した容器や大型機器等の取扱いが出来る技能（クレーン運転士、玉掛作業主任者等）を有していること。 ⑤保温材の取扱い及び安全対策に係る知識（大気汚染防止法、粉じん障害防止規則）及び技術を有していること。</p>
		共通	<p>必要な作業人員を確保できること。 不測の事態発生にも早急な対応が可能であること。 作業に必要な建設業許可、法令知識があること。 原子力施設における個人の信頼性確認の審査により認定を受けること。 異物管理の運用方法を明確にし、異物混入によるトラブル防止を図ること。</p>		

6. 「元請会社が求める技術的ニーズ」に対応する自社が持つ技術の概要(個別面談希望企業)

前記の「5. 個別面談会を希望する対象工事」でチェック欄に○をした工事について、元請会社が求める技術ニーズ等に対応する自社の実績、アピールポイント等を以下に記載してください。(複数の工事に○をした場合は、それら全ての工事に対して、自社の実績、アピールポイント等に記載してください。)

(提供できる技術(作業・製品)の内容)

(上記または類似する技術の適用実績)

(所有する関連技術・資格類)

(当該業務の従事者数(うち原子力管理区域内作業経験者数))

(その他 アピールポイント等)

詳細な内容については資料を添付してください。

添付ファイル(元請会社が求める技術ニーズ等に対応する説明資料)の有無 ※2

上記の記載内容を補足する説明資料の添付

(説明資料、パンフレット等を電子ファイルにて添付し、○印を付けてください)

※1 記載内容について、事務局から事前に確認させていただく場合がありますので、その場合はご協力をお願いします。

※2 本書(Excelファイル)と添付書類(PDFファイル等汎用ソフトで開けるもの)を、電子ファイルで事務局に提出してください。(添付ファイルのファイル名は、何の添付ファイルか容易に判断できる名称にしてください)

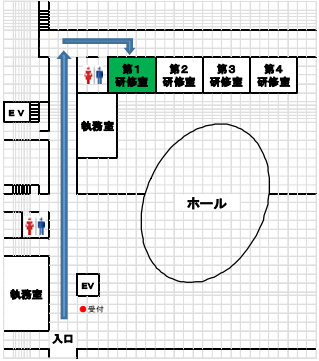
廃止措置工事に係る元請会社との情報交換会

参考

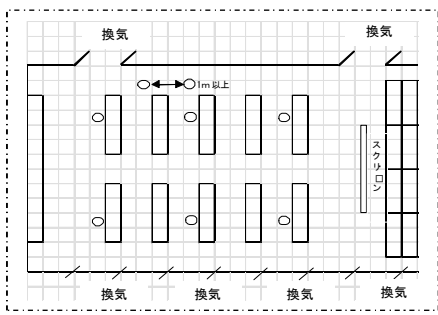
会場のご案内

●全体説明会

・ 1階 第1研修室



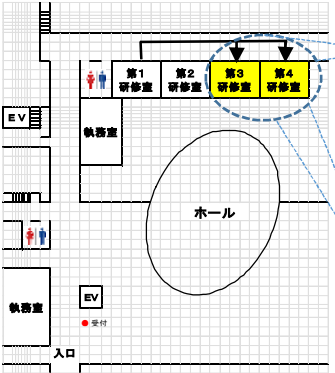
第1研修室



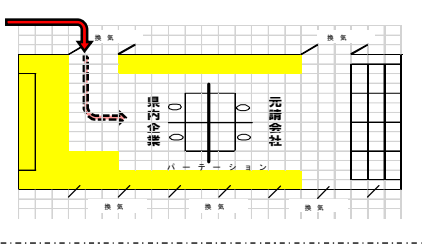
- ・会場内では、マスクの着用をお願いします。
- ・順次、全体説明を行いますので、予定時刻より多少時間が前後する場合があります。
- ・映像により、時間帯別に工事概要の説明を行います。

●個別面談

・ 面談実施会場：1階 第3研修室、第4研修室(全体説明会後、各自ご移動下さい。)



面談室内(第3研修室・第4研修室)



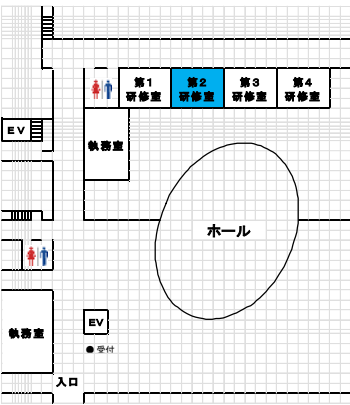
- ・会場内では、マスクの着用をお願いします。
- ・入室後、挨拶をして面談を始めてください。
- ・エネ研担当者から終了時間の合図があれば、直ちに面談を終了してください。
- ・退室後、解散となります。
- ・ご案内時に不在の場合は、キャンセルまたは順番が後になりますので、ご注意ください。
- ・面談中は、携帯電話などの通信機器をマナーモードにするなど、音の出ない設定にしてください。

●注意事項

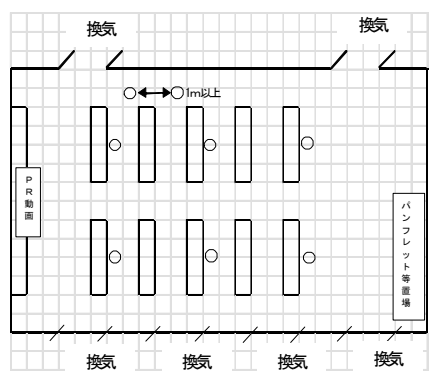
- ・面談後、工事の内容などについて元請会社との連絡を希望される場合は、ご参加者が元請会社と個別に交渉いただきますようお願いいたします。

●控室兼交流室

・ 1階 第2研修室



控室兼交流室(第2研修室)



- ・会場内では、マスクの着用をお願いします。
- ・参加企業との交流会ができるように、控室をオープンスペースとし、全体説明会等の待ち時間に関係なく、自由に交流できる場を提供します。
- ・各社のPR活動にご活用下さい。
- ・各社のPR動画、パンフレット等をご利用される場合は、参加申込書にご記入下さい。